

山 域	冬山合宿(法恩寺山～経ヶ岳)		
期 日	2002 年 12 月 28 日～30 日	形 態	避難小屋泊
メンバー	GL 畑(講)	食当 松島	記録 頼永
概念図	<p>Conceptual map showing the route from the Parateik Wood Lift (バラエティクウッドリフト) through Ski Jam Rinsen (スキージャム勝山), Enji-san (法恩寺山, 1357m), and various mountain peaks including Hoku-dake (北岳, 1609m), Kikage-dake (経ヶ岳, 1625m), Nakadake (中岳, 1467m), and Kikage-dake (杓子岳, 1430m). The route also passes through the Enji-san避难小屋 (Enji-san避难小屋) and the Nakadake避难小屋 (中の平避难小屋). Other landmarks include the Parateik Wood Lift (バラエティクウッドリフト), Ski Jam Rinsen (スキージャム勝山), and the Enji-san有料道路 (Enji-san有料道路). The map also shows the location of the village of Kohyama (小原村) and the route to the Akagi Mountains (至赤兎山).</p>		
日 程			
1 2 / 2 8	岡崎 I C (620) === 長良川 SA(720,730) === 白鳥 I C (805) === 油坂料金所(815) === 道の駅「九頭竜」(845,850) === スキージャム勝山(1055,1205) === バラエティクウッドリフト上(1215) === 案内板「弁ヶ滝」(1315) === 中の平避難小屋 TS1(1415)		
1 2 / 2 9	TS1(620) --- 案内板「弁ヶ滝」(705,715) --- イリュージョンプラザ(740) --- イリュージョンクワッド B 終点(905) --- 法恩寺山(930,955) --- イリュージョンクワッド B 終点(1005,1020) --- 伏拝(1225,1300) --- イリュージョンクワッド B 終点(1330) --- 中の平避難小屋 TS2(1455)		
1 2 / 3 0	TS2(730) --- スキー場分岐(800,810) --- バラエティクウッドリフト上(900,910) --- スキージャム勝山(920,1005) === 福そば陽明店(1050,1135) === 和泉村「平成の湯」(1205,1310) === 油坂料金所(1340) === 白鳥 IC(1350) === 関 SA(1425,1500) === 岡崎 IC(1600)		

感想	<p>12/28</p> <p>年末寒波の直後であり、かなりの雪を覚悟して岡崎を出発。油坂料金所を通過すると、予想通り雪道が顔を出す。慎重に通過して、無事スキージャム勝山に到着。今日は、一部リフト使って中の平避難小屋までの短い行程。天気も良く、明日目指す経ヶ岳の形のよさに感激しながら林道を快調に歩く。しかし、最後の1時間は深雪に苦しめられ、とうとう小屋手前100mでワカンを着用し、やっとこさで小屋に到着。小屋は、薪ストーブがあって暖かく極めて快適。食当さんのおかげで楽しい夕食をいただき、19時に就寝。</p> <p>12/29</p> <p>朝4時15分に起床。天気は雪。途中でのテント泊も考えフル装備で小屋を出発。法恩寺山直下までは、スキー場のゲレンデを登る。荷物は重いですが、ゲレンデの雪はしまっているため、ワカンの爪を利かせてそこそこのスピードで登る。リフト終点から、法恩寺山山頂までは腰までの深雪ラッセルとなる。やっと雪山に来たと心が躍る反面、体は思うようには進まない。山頂は、雪と風で期待した経ヶ岳、白山の展望は得られず、少し休憩して経ヶ岳を目指す。ここからも腰までの深雪ラッセルの連続。メンバー3人ではやはりなかなかラッセルは進まず伏拝(1360m)で、目安にしていた12時を早くも経過してしまう。目指す経ヶ岳はまだ先であり、残念ではあるがここで引き返すことに決め、昼食を取る。ここから来た道を引き返すが、すでに行きにつけたトレースはなく、雪山の怖さを感じる。15時前に無事避難小屋に到着。昨夜に続いておいしい食事をいただき就寝。</p> <p>12/30</p> <p>今日は、下山のみ。晴天を恨めしく思いながら無事下山。</p> <p>今回の合宿では、十分な展望が得られなかったこと、目的地にははるか及ばなかったことは残念だったが、深雪のラッセル思い切り楽しむことができそれなりの充実感を味わえることができた。今度は、もう少し雪がしまったときに再挑戦したい。</p>
----	--